

2 目標達成計画

事業所名：グループホームゆいっこ

作成日：平成25年2月28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合ったものです。また、課題等は、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を掲げております。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	日々の実践を通し職員全体で事業所独自の理念を作り実践につなげる。	実践を通した職員の想いの自己表現化	新人職員も日々の経験を重ね「生活の継続性」行ってきた。お互いが存在を認め合い、ある一定の援助は出来るレベルではある。それを今後入居者の「想い」を汲み取り「楽しく」共同生活を営めるよう感性を養う。	12 か月
2	10	率直に言い合える・家族の主体性を運営に活かすことへの継続性	入居者家族間の関わり活性化	近況報告・けし検討記録での職員・家族間は情報伝達は行えている。今後家族間でも「ゆいっこ」をより良いものにするために家族会での意見の活性化を図る。	12 か月
3	11	職員全体の話し合いをベースにした事業所の理念・目標設定を行う。職員採用時の理念の伝え方・新任研修のあり方・適宜な職員研修の活性化	チームケアの確立・情報共有、共同生活支援に対しての方向性の確立	1ヶ月1回の法人内研修・2ヶ月に1回のGH内研修でのスキルアップを図る。「自分は何ができるのか」を常に考え理念の構築に携わる。また、情報の共有化のためには洞察力を養う。	12 か月
4	26	利用者のニーズを捉える力を高め、今後も職員全員で関わりながらプランを立案していくことの継続性	スキルアップ・フォローアップ・自己研鑽に励む	職員間での入居者の状態を鑑みながら情報共有が円滑にできるよう、「気づき」「想いやり」「今、何が必要か」を常に話せるようにする。また、職員のそれぞれの良さを活かし支援にあたれるよう、経験年数が長い者がアドバイスをしていく。	12 か月
5					か月